

## 経営・雇用情勢に関する緊急調査結果

【調査目的】  
 急激に悪化しつつある企業経営の実態と雇用情勢を把握し、今後の必要な施策の参考とするため

【調査対象】  
 島根県内の事業者107社（製造業、建設業、卸・小売業、飲食・宿泊業、情報サービス業）

【実施時期】 平成21年1月8日(木)～2月3日(火)

【調査方法】 職員が直接企業訪問を行い、聞き取りにより実施

【調査状況】 (地域別)： 東部 78 西部 26 隠岐 3  
 (業種別)： 製造業(食品関連を除く)79 建設業10 卸・小売業4 飲食・宿泊業8 情報サービス業6

### 1. 今期の売上高見込みについて(前期対比)

調査対象企業	計	増加又は 現状維持		減 少								無回答	
				10%未満		10%～30%未満		30%～50%未満		50%以上			
				回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比		
自動車関連製造	21	7	33.3%	2	9.5%	9	42.9%	2	9.5%			1	4.8%
電子部品関連製造	12			3	25.0%	5	41.7%	2	16.7%			2	16.7%
その他ものづくり関連	46	15	32.6%	4	8.7%	16	34.8%	5	10.9%	2	4.3%	4	8.7%
建設業	10	3	30.0%	2	20.0%	4	40.0%	1	10.0%				
卸・小売業	4	2	50.0%	2	50.0%								
飲食・宿泊業	8	3	37.5%	5	62.5%								
情報サービス業	6	4	66.7%	1	16.7%	1	16.7%						
合 計	107	34	31.8%	19	17.8%	35	32.7%	10	9.3%	2	1.9%	7	6.5%

### 2. 直近3ヶ月の売上高について(前年同月期対比)

調査対象企業	計	増加又は 現状維持		減 少								無回答	
				10%未満		10%～30%未満		30%～50%未満		50%以上			
				回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比		
自動車関連製造	21	3	14.3%	1	4.8%	5	23.8%	6	28.6%	3	14.3%	3	14.3%
電子部品関連製造	12	1	8.3%			2	16.7%	6	50.0%	1	8.3%	2	16.7%
その他ものづくり関連	46	6	13.0%	3	6.5%	14	30.4%	5	10.9%	6	13.0%	12	26.1%
建設業	10	3	30.0%	1	10.0%	2	20.0%					4	40.0%
卸・小売業	4	2	50.0%	1	25.0%							1	25.0%
飲食・宿泊業	8	7	87.5%	1	12.5%								
情報サービス業	6	5	83.3%	1	16.7%								
合 計	107	27	25.2%	8	7.5%	23	21.5%	17	15.9%	10	9.3%	22	20.6%

### 3. 来期の売上高予測について(今期対比)

調査対象企業	計	増加又は 現状維持		減 少								無回答	
				10%未満		10%～30%未満		30%～50%未満		50%以上			
				回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比		
自動車関連製造	21	2	9.5%	1	4.8%	3	14.3%	4	19.0%	2	9.5%	9	42.9%
電子部品関連製造	12	1	8.3%			1	8.3%	1	8.3%			9	75.0%
その他ものづくり関連	46	8	17.4%	2	4.3%	3	6.5%	5	10.9%	2	4.3%	26	56.5%
建設業	10	4	40.0%			1	10.0%	1	10.0%			4	40.0%
卸・小売業	4	1	25.0%	2	50.0%							1	25.0%
飲食・宿泊業	8	3	37.5%	3	37.5%	1	12.5%					1	12.5%
情報サービス業	6	3	50.0%	1	16.7%	2	33.3%						
合 計	107	22	20.6%	9	8.4%	11	10.3%	11	10.3%	4	3.7%	50	46.7%

## ■ 受注状況の主な動向

### 自動車関連製造

- 多くの企業が、11月から明確に受注が減少傾向に入っている。
- 円高や輸出先の不況により過剰在庫となっており、1月以降も在庫調整期間が続くと見ている関係企業が多い。
- そうした中で、軽自動車関連は比較的堅調であり、大幅な落ち込みにはなっていない。

### 電子部品関連製造

- 多くの企業が、11月以降大幅な受注減となっている。計画の3～4割程度の受注しかない企業もある。

### その他ものづくり関連

- 船舶関係の一部部品メーカーでは、売上げが好調であり、来期も同様と予想している。
- 農業用機械・建設用機械部品製造の企業では、自動車関連等と比べて、総じて受注の落ち込みは小さい傾向にある。
- 医療・福祉用機器、化粧品、文具事務機器製造の企業は、対前年度比で横ばい又は微増であり、景気後退の影響は小さい。

### 建設業

- 現在はピーク（H8～12）の半分近く若しくは半分以下に減少している中で、大型案件を抱えている企業以外は、厳しい状況にある。

### 卸・小売業

- OA機器等の買控えが顕著。12月から取引先の商品価格引き上げにより状況は厳しい。
- クリスマス、年末年始とも堅調とする企業があるが、景気後退の影響が少しずつ現れている。

### 飲食・宿泊業

- 飲食業で忘年会新年会シーズンは前年並みとする企業がある一方、宿泊客が12月頃から激減している事業者が多い。

### 情報サービス業

- 今期への影響はあまり無い。ソフト系ITは仕事の発注が2～3カ月前に来るものが多く、来期はまだ見通しが立たない。
- 公共、医療系の受注は堅調だが、製造業、流通系は今後の動向を懸念している。

## ■ 今後の経営環境予測

### 自動車製造関連

- 厳しい経営環境を予測しており、生産体制の見直しが必要との認識。今後の経営計画が立てられないとする企業もある。

### 電子部品関連

- 多くの企業で厳しい状況が2年程度続くと予測。来期については、更に厳しくなると予測しているが、落ち込み幅の予測はつかないと回答した企業が多い。

### その他ものづくり関連

- 鋳物関連で、自動車製造関連、工作機関連などと大きく関わる業界全体では、厳しい状況がしばらく続くのではと見ている企業もある。
- 農業用機械関連では、落ち込みは少ないと見る向きが多い。
- このような状況下だからこそ、他社のコストダウンのため外注が促進され、受注増になるのではと予測した企業もあった。

### 建設業

- 大型プロジェクトがなくなりつつあり経営環境は厳しい。個人住宅部門はローン減税が決まれば好転することを期待している。

### 卸・小売業

- 買控えやメーカーの値上げ、電気料金、材料費の上昇により、状況は引続き厳しい。

### 情報サービス業

- 効率等を求めたシステム開発の案件は無くならない。一時的に仕事は減るかも知れないが、将来的には情報産業自体は拡大すると見ている。

## ■ 企業の対応戦略

- 見込み生産から受注生産への転換、迅速な取引を実現するための短納期化の徹底、外注の内製化、不良率の削減、生産管理の徹底によるコスト削減努力の実施を検討
  - ・自動車関連企業…徹底したコスト削減、生産ラインの見直し・部分休止、設備投資・更新の延期、雇用調整
  - ・電子部品関連企業…コスト削減、投資の見直し、間接業務の効率化、雇用調整
- 緊急雇用安定助成金を活用し、研修活動を実施、技術力を強化する予定
- 人材育成により多能工化を積極的に推進し、生産性向上、短納期化実現
- 新規参入分野である福祉及び農業分野の自立（建設業）
- ネット通販、ネットエージェント契約の拡大（卸・小売業、宿泊業）